



気候変動への対応および TCFD 提言への賛同について

タキロンシーアイ株式会社（大阪府大阪市北区 代表取締役社長 齋藤一也）は、2021年5月に「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD：Task Force on Climate-related Financial Disclosures）」の提言への賛同を表明しました。

気候変動への対応は、社会全体での取り組みが必要な重要課題であることから企業として対応すべき課題と認識しており、また、TCFD 提言への対応を進めることは中長期的な企業価値の向上に資するものと考えています。

タキロンシーアイグループは、2019年度にサステナビリティ上の重要課題（マテリアリティ）として「環境負荷の低減」「環境配慮型製品の拡大」を定め、その一つとして2030年度にCO2排出量を30%削減（2018年度比）する活動を推進しています。事業活動を通じた社会課題の解決に取り組むことにより、グループ企業理念である使命【人と地球にやさしい未来を創造する】の実現を目指してまいりました。

また、今年度よりスタートした中期経営計画【Commit to Transformation 2023】において、現在の深刻化する社会課題・環境問題を鑑み一層の取り組みを強化するため、重点実施項目の1番目に「社会課題の解決」を定めました。気候変動対応を含め、社会の持続性を意識し、SDGsを踏まえた事業活動とマテリアリティを着実に実行してまいります。

タキロンシーアイグループは、今後、気候変動に関わるリスクと機会の特定と評価、分析を進め、積極的な情報開示を行うことによりステークホルダーの皆さまとの信頼関係を構築し、事業活動を通じた社会課題の解決に寄与してまいります。

【 お問い合わせ 】

タキロンシーアイ株式会社 〒108-6031 東京都港区港南2丁目15番1号

経営企画部 コーポレートコミュニケーショングループ（担当：高田） TEL 03-6711-3718